

# キュウリに発生しやすい病害虫

## 5月の農作業

夏野菜の植え付けも一段落したところで、一度畑を確認してみましょう！

### ■ウリハムシ

- 主に露地栽培で発生しやすい。
- 成虫は7～9mmの甲虫で、集団で越冬し、ウリ科作物には5月頃から飛来し食害する。
- 発生株に近づくとすぐ飛んで逃げる。
- 葉が不規則な半円形～円形、網目状に食害される。
- 幼虫によって根が食害されると地上部が日中しおれるようになり、症状が進むと枯死する。



#### 【防除】

- 成虫の飛来侵入をシルバーマルチ等で防除する。  
特に飛来侵入最盛期の5月下旬から6月中旬には防除を行う。

適用農薬	希釈倍数	使用時期	総使用回数
マラソン乳剤	1,000倍	収穫前日まで	3回以内

### ■うどん粉病

- 比較的高温でやや乾燥状態で発生しやすい。
- 葉の表面に白い粉のようなカビを生じる。
- 葉の真横から見ると、発生部分は白い毛が生えたように見える。
- 下の葉から徐々に上の葉に進展する。
- 発病のひどい場合は葉が枯れあがり、著しく減収する。



#### 【防除】

- 雨の少ない乾燥したときに被害が大きくなるので注意する。
- 病気が広がると防除しにくくなるので初期防除を行う。

適用農薬	希釈倍数	使用時期	総使用回数
プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫前日まで	3回以内

裏面はピーマンに発生しやすい病害虫を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

# ピーマンに発生しやすい病害虫

## 5月の農作業

夏野菜の植え付けも一段落したところで、一度畑を確認してみましょう！

### ■アブラムシ

- 直接的な吸汁被害とウイルス病を媒介する。
- 晴天が続き、雨の少ない年に発生が多い。
- 幼苗期に寄生が多いと生育が抑制される。
- 短期間のうちに増殖する。
- 発生すると、アリが株に多く登って来たり、発生部分にススがついたようになる。



#### 【防除】

- 圃場内や周辺からやってくるので雑草はできるだけ除去する。
- マルチやシルバーテープで飛来防止につとめる。
- 多発生するとウイルス病が発生する可能性も大きくなるので早めに防除する。

適用農薬	希釈倍数	使用時期	総使用回数
スタークル顆粒水溶剤	3,000倍	収穫前日まで	2回以内

### ■カルシウム欠乏症

- 石灰不足の酸性圃場で発生しやすい。
- 窒素肥料やカリ、マグネシウム過多でも発生する。
- 先端葉はいびつで、下に向かうほど症状が軽減する。
- 土壌が乾燥するとカルシウムが吸収できず発生しやすい。
- 果実は表面が黒ずみへこんだり、クリーム色になったりする。



#### 【対策】

- 圃場を作る際には土壌改良として深耕する。
- 石灰が不足している場合はセルカなどの石灰質資材を施用する。
- 石灰を施用していても、土壌中が乾燥して発生するので、乾燥しすぎないように水管理に注意する。



裏面はキュウリに発生しやすい病害虫を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。